

研修に関する Q&A 宮下智貴

Q1 自己紹介、留学時期、研修先、研修内容

・自己紹介

福井県立大学生物資源学部生物資源学科 4 年 宮下智貴

・研修内容

スリランカ (2018.12.21-12.31) : 現地の孤児院の訪問、子供たちとの遊びを通して日本文化を伝える、住民の生活のお手伝いと体験など。



カンボジア (2019.09.13-09.23) : 地元の漁師とマングローブ林の植樹や植え替えの手伝いなど。



Q2 研修参加の志望動機

- ・もともと海外ボランティアに興味があったから
- ・途上国の生活を感じてみたかったから
- ・純粹におもしろそうで、ワクワクしたから

Q3 準備し始めた時期

出発の 2.3 週間前くらい

Q4 準備で大切なこと/県大内で準備すべきこと

- ・ 予防接種を受けること
- ・ VISA をとること
- ・ コンタクトの人はコンタクトの洗浄液とケース
- ・ 航空券の予約 (意外と経由便より直行便の方が安かったりします)
- ・ 研修が決まったら国際・留学支援課の佐々木さんに会いに行くこと。補助金が適用される場合があります。



Q5 費用はいくらかかったか。出発までの準備費用と研修中の費用

出発前: 7-10 万 (ボランティア参加費、航空券、予防接種などの事前準備)

研修中: 2-3 万 (基本的に物価が安いので食事や移動費などといった生活費は安く済ませられます)

トータル: 10-15 万くらい

Q6 準備する上で障害だったこと、どうやって乗り越えたか

- ・ 参加するためのお金が貯まらなかった
- ⇒ 部活を辞めて、アルバイトを増やして貯金した。

Q7 研修中苦労したこと

- ・ 気候の違いによる体調不良。12 月に行ったスリランカでは冬からいきなり夏にとんだのではじめのうちは体力が追い付かなかったこと。
- ・ はじめのうちは現地の人達は何を伝えたいのかわからなかったこと。

Q8 現地でどんな刺激を受けたか

日本での当たり前が現地では当たり前じゃないということを肌感覚で感じました。私が滞在した地域では基本シャワーは水のみですし、道路も舗装されていない所がほとんどなので車やトラックで移動した時はお尻が割れるかと思いました。日本での生活と比べて利便性は決して良いとは言えませんが、そういう生活を面白いと感じられる人にはとても刺激的な生活になると思います。

Q9 交友関係はどうだったか

- ・日本だけでなく、海外からの参加者もいて、色々な文化に触れられる。(プログラムによっては日本人参加のみのものもあります)
- ・共同生活を通して参加者とは自然と仲良くなる。
- ・現地の住民とも一緒に生活するので色々な話や体験ができて面白い。

Q10 就職活動や進学などで研修の経験をどう活かしたいか/活かしたか

就職活動では、ボランティアを通して感じたことや経験したことを履歴書の『学チカ』や会社の志望動機に書きました。面接で聞かれたのは、実際ボランティアに参加して何を感じて、それをその会社で働く上でどう繋げていくかということ。ボランティアに参加したことだけ伝えるのでは意味がないので、感じたことや学んだことをメモっておくと後で振り替えられるので良いと思います。

Q12 海外ボランティアを考えている学生達にメッセージ（アピールポイント等）

- ・海外の生活をより身近で感じられるのは海外ボランティアの良いところだと思います。日本では見たことない光景や感じられないことにたくさん出会えて、刺激的で貴重な経験ができると思います。
 - ・海外ボランティアに興味はある反面、不安もあるという人もいます。そういう時は気軽に大学のワールドカフェや国際留学支援課に足を運んで欲しいです。スタッフや先輩方から色々なお話が聞けるとと思います。
- 少しでもこういった活動に興味がある人は海外ボランティアへの参加を強くお勧めします。

